

DERWENT-ACC-NO: 2004-457845

DERWENT-WEEK: 200443

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Loop formation material for e.g. flag, curtain, has loop formed, by connecting compatibility marks with adhesion property on corresponding marks of flag

PATENT-ASSIGNEE: OKUMURA K[OKUMI] , OKUMURA T[OKUMI]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0343906 (November 27, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2004177670 A	June 24, 2004	N/A	010	G09F 017/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2004177670A	N/A	2002JP-0343906	November 27, 2002

INT-CL (IPC): A47H013/02, G09F017/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2004177670A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A loop is formed, by connecting the compatibility marks (61a,61b) of the loop formation material (50) with adhesion property on the corresponding marks (11a,11b) of the flag (10). The loop is provided to connect the edge of the flag on the vicinity of the pillar (15).

DETAILED DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is also included for e.g. flag, curtain.

USE - For forming loop for connecting e.g. flag, curtain, with respect to support member.

ADVANTAGE - Easily attach loop formation material by predetermined positional relationship with respect to flag.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure is the perspective diagram loop formation material.

Flag 10

Mark 11a,11b

Pillar 15

Loop formation material 50

Compatibility mark 61a,61b

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/9

TITLE-TERMS: LOOP FORMATION MATERIAL FLAG CURTAIN LOOP FORMING
CONNECT

COMPATIBLE MARK ADHESIVE PROPERTIES CORRESPOND MARK FLAG

DERWENT-CLASS: P27 P85

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2004-363051

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-177670

(P2004-177670A)

(43) 公開日 平成16年6月24日 (2004.6.24)

(51) Int. Cl.⁷G09F 17/00
A47H 13/02

F 1

G09F 17/00
A47H 13/02

P

テーマコード (参考)

2E182

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2002-343906 (P2002-343906)
(22) 出願日 平成14年11月27日 (2002.11.27)(71) 出願人 500314360
奥村 卓也
愛知県名古屋市中区栄二丁目14番12号
(71) 出願人 500314371
奥村 訓代
愛知県名古屋市中区栄二丁目14番12号
(74) 代理人 100101524
弁理士 長谷川 哲哉
(72) 発明者 奥村 卓也
愛知県名古屋市中区栄二丁目14番12号
Fターム (参考) 2E182 AA01 AB00 AC01 BB24 DJ07
FF02

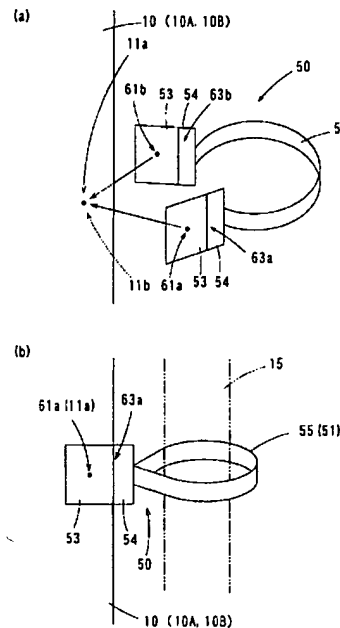
(54) 【発明の名称】 旗等のためのループ形成材及び旗等のセット

(57) 【要約】

【課題】 ループ形成材が旗等に対して容易に所定の位置関係で取り付けられるようにする。

【解決手段】 旗10と、旗10の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支柱15等に対して旗10を連結するためのループを形成するループ形成材50とを有する。旗10の縁部の近傍に目印11a, 11bが設けられ、ループ形成材50には、旗10の目印11a, 11bに対応した目印である目印対応目印61a, 61b、及び、旗10の縁部に対応した目印である縁部対応目印63a, 63bが設けられ、ループ形成材50の少なくとも目印対応目印61a, 61bの近傍及び縁部対応目印63a, 63bの近傍が透視性を有する。

【選択図】 図3

is of
transparent
(PS1)

【特許請求の範囲】

【請求項1】

旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支持材に対して前記旗又は幕を連結するためのループを形成するループ形成材であって、
前記旗又は幕の縁部に対応した目印である縁部対応目印が設けられているとともに、少なくとも前記縁部対応目印の近傍が透視性を有する、ループ形成材。

【請求項2】

旗又は幕と、前記旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支持材に対して前記旗又は幕を連結するためのループを形成するループ形成材とを有する旗又は幕のセットであって、
前記旗又は幕の縁部の近傍に目印が設けられ、
前記ループ形成材には、前記旗又は幕の目印に対応した目印である目印対応目印が設けられているとともに、前記ループ形成材の少なくとも前記目印対応目印の近傍が透視性を有する、
旗又は幕のセット。

【請求項3】

旗又は幕と、前記旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支持材に対して前記旗又は幕を連結するためのループを形成するループ形成材とを有する旗又は幕のセットであって、
前記旗又は幕の縁部の近傍に目印が設けられ、
前記ループ形成材には、前記旗又は幕の目印に対応した目印である目印対応目印、及び、前記旗又は幕の縁部に対応した目印である縁部対応目印が設けられ、前記ループ形成材の少なくとも前記目印対応目印の近傍及び前記縁部対応目印の近傍が透視性を有する、
旗又は幕のセット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、旗等の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支持材に対して前記旗等を連結するためのループを形成するループ形成材、及び、前記旗等と前記ループ形成材とを有する旗等のセットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来より、旗セットの代表例として、次のようなものがある。

その旗セットは、旗及びループ形成材を有している。ループ形成材は、旗の1つの側縁部及びその近傍に対して複数個取り付けられ、旗を支柱（支持材）に連結するための複数のループ（支柱用ループ）が形成される。

また、ループ形成材は、旗の上縁部及びその近傍に対して複数個取り付けられる場合もあり、その場合は、旗を上部支持部材（支持材）に連結するための複数のループ（上部支持部材用ループ）が形成される。

【0003】

また、幕セットの代表例として、次のようなものがある。

その幕セットは、幕及びループ形成材を有している。ループ形成材は、幕の上縁部及びその近傍に対して複数個取り付けられ、幕をロープに対して連結するための複数のループ（上縁部ループ）が形成される。

ループ形成材は、幕の下縁部及びその近傍に対して取付けられる場合もあり、その場合も、幕をロープに対して連結するための複数のループ（下縁部ループ）が形成される。

【0004】

以上における従来のループ形成材は、帯状の布等によってほぼ一様に形成されている。

そして、ループ形成材は、作業者によって、旗や幕に対して取り付けられる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、ループ形成材は、旗又は幕に対して、所定の位置関係を有する状態で取り付けられる必要がある。

しかしながら、上記従来のループ形成材は帯状の布等によってほぼ一様に形成されているために、作業者が、自身の感覚等に基づいて、そのループ形成材を旗等に対して取り付けられている。

【0006】

このため、ループ形成材が旗等に対して所定の位置関係を有する状態で取り付けられない場合もある。

また、ループ形成材が旗等に対して所定の位置関係を有する状態で取り付けられる場合でも、そのために、その取り付けの際に作業者は細心の注意を払う必要があり、その取り付けの能率が上がらない場合が多い。

【0007】

そこで、本発明は、ループ形成材が旗等に対して容易に所定の位置関係で取り付けられ得る技術を提供することを課題とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を解決するために、請求項1に係る発明は、旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支持材に対して前記旗又は幕を連結するためのループを形成するループ形成材であって、前記旗又は幕の縁部に対応した目印である縁部対応目印が設けられているとともに、少なくとも前記縁部対応目印の近傍が透視性を有する、ループ形成材である。

【0009】

「透視性」とは、透明又は半透明であって、当該物体（この場合は、ループ形成材）を通して、当該物体よりも向こう側の物体（この場合は、旗又は幕）が透けて見える性質のことをいう。

「縁部」には側縁部、上縁部、下縁部がある。

以上のことは、他の請求項においても同様である。

【0010】

この発明では、旗又は幕の縁部に対応した目印である縁部対応目印がループ形成材に設けられているとともに、ループ形成材のうちの少なくとも縁部対応目印の近傍が透視性を有するため、その縁部対応目印が旗又は幕の縁部に合致するか否かが視認され得る。

こうして、縁部対応目印が旗又は幕の縁部に合致するようにして、ループ形成材が、旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられる。

【0011】

このようにして、この発明では、ループ形成材が、容易に、旗又は幕に対して所定の位置関係で取り付けられる。すなわち、ループ形成材は、旗又は幕に対して、旗又は幕の縁部と直角の方向における所定の位置に容易に取り付けられる。

【0012】

縁部対応目印が旗又は幕の縁部に対応した線状又は複数の点状等の場合においては、ループ形成材は、さらに、旗又は幕の縁部に対して容易に所定の角度（代表例は直角）で取り付けられる。なお、「線状」には、実線、点線、破線、鎖線等の種々のものが適用され得る。このことは、請求項3に係る発明においても同様である。

【0013】

請求項2に係る発明は、旗又は幕と、前記旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支持材に対して前記旗又は幕を連結するためのループを形成するループ形成材とを有する旗又は幕のセットであって、前記旗又は幕の縁部の近傍に目印が設けられ、前記ループ形成材には、前記旗又は幕の目印に対応した目印である目印対応目印が設けられているとともに、前記ループ形成材の少なくとも前記目印対応目印の近傍が透視性を有する、旗又は幕のセットである。

【0014】

この発明の旗又は幕のセットでは、旗又は幕の縁部の近傍に目印が設けられ、その目印に対応する目印である目印対応目印がループ形成材に設けられているとともに、ループ形成材のうちの少なくとも目印対応目印の近傍が透視性を有するため、その目印対応目印が旗又は幕の目印に合致するか否かが視認され得る。

こうして、目印対応目印が旗又は幕の目印に合致するようにして、ループ形成材が、旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられる。

【0015】

このようにして、この発明では、ループ形成材が、容易に、旗又は幕に対して所定の位置関係で取り付けられる。すなわち、ループ形成材は、旗又は幕に対して、旗又は幕の縁部に沿った方向における所定の位置、及び、旗又は幕の縁部と直角の方向における所定の位置に容易に取り付けられる。

10

【0016】

なお、1つのループ形成材に対して、旗又は幕の各面（おもて面又は裏面）に目印が2つ以上設けられ、それに対応して、当該1つのループ形成材のうちの旗又は幕の各面に対応する部分に目印対応目印が2つ以上設けられてもよい。

その場合は、さらに、ループ形成材は、旗又は幕の縁部に対して容易に所定の角度（代表例は直角）で取り付けられる。

【0017】

請求項3に係る発明は、旗又は幕と、前記旗又は幕の縁部及びその近傍に対して取り付けられることによって支持材に対して前記旗又は幕を連結するためのループを形成するループ形成材とを有する旗又は幕のセットであって、前記旗又は幕の縁部の近傍に目印が設けられ、前記ループ形成材には、前記旗又は幕の目印に対応した目印である目印対応目印、及び、前記旗又は幕の縁部に対応した目印である縁部対応目印が設けられ、前記ループ形成材の少なくとも前記目印対応目印の近傍及び前記縁部対応目印の近傍が透視性を有する、旗又は幕のセットである。

20

【0018】

この発明では、請求項1及び請求項2の両方の作用及び効果が得られる。

すなわち、この発明では、ループ形成材は、旗又は幕の縁部に沿った方向における所定の位置、及び、旗又は幕の縁部と直角の方向における所定の位置に容易に取り付けられる。

30

【0019】

ループ形成材の縁部対応目印が旗又は幕の縁部に対応した線状又は複数の点状等の場合においては、ループ形成材は、さらに、旗又は幕の縁部に対して容易に所定の角度（代表例は直角）で取り付けられる。

1つのループ形成材に対して、旗又は幕の各面（おもて面又は裏面）に目印が2つ以上設けられ、それに対応して、当該1つのループ形成材のうちの旗又は幕の各面に対応する部分に目印対応目印が2つ以上設けられている場合においても、同様である。

【0020】

【発明の実施の形態】

〔実施形態1〕

40

次に、本発明の実施形態1について、図1～図3及び図6（a）に基づいて説明する。

この旗セットは、旗10A（図1）及びループ形成材50（図2）を有している。

図1に示すように、旗10A（10）は、布等によって形成されており、横長の長方形状に形成されている。

【0021】

旗10Aの1つの側縁部の近傍において、旗10Aのおもて面及び裏面の両面には、各々、複数の目印11a、11bが設けられている。

旗10A（10）のおもて面に形成された目印11aと旗10Aの裏面に形成された目印11bとは、対応している。すなわち、目印11bは、目印11aの裏側に形成されている。

50

【0022】

目印11a, 11bは、支柱用ループ55（図6（a）参照）を形成するためにループ形成材50が取り付けられる部分に設けられている。各目印11a, 11bは、1つの点状に形成されている。

【0023】

図2に示すように、ループ形成材50は、透明な合成樹脂のフィルム又はシートによって帯状に形成されている。

ループ形成材50の中央部分はループ形成部51である。

このループ形成材50では、ループ形成部51が幅細に形成され、それ以外の部分が幅広部52とされている。

10

【0024】

ループ形成材50のうちの両端側の部分（幅広部52のうちのループ形成部51とは反対側の部分）は、取付部53である。

取付部53は、ループ形成材50が旗10（図1, 図4参照）や幕110（図9参照）の縁部及びその近傍に対して取り付けられる際に旗10等の縁部及びその近傍と重なる部分、すなわち、取り付けのための“代（しろ）”となる部分である。

取付部53は、熱溶着又は接着剤によって旗10等の縁部及びその近傍に対して接着される。

【0025】

取付部53とループ形成部51との間の部分（幅広部52のうちのループ形成部51の側の部分）は、相互接着部54である。

20

相互接着部54は、ループ形成材50が旗10等の縁部及びその近傍に対して取り付けられる際に相互に接着する部分である。

【0026】

各取付部53には、旗10等の目印11a, 11b（図1等参照）に対応して、目印対応目印61a, 61bが形成されている。各目印対応目印61a, 61bは1つの点状に形成されている。

【0027】

また、図2に示すように、各取付部53と各ループ形成部51との各境界部分には、旗10の縁部（側縁部等）（図1等参照）に対応して、縁部対応目印63a, 63bが形成されている。縁部対応目印63a, 63bは、線状に形成されている。

30

【0028】

次に、この旗セットの使用方法及び作用効果について説明する。

図3（a）に示すように、ループ形成材50の一对の取付部53が、旗10Aを挟むようにして、旗10Aの1つの側縁部及びその近傍（旗10Aのおもて面及び裏面の各面）に対して、熱溶着又は接着剤による接着等によって取り付けられる。同様に、一对の相互接着部54同士も相互に接着される。

【0029】

こうして、図3（b）に示すように、複数のループ形成材50が旗10Aの1つの側縁部及びその近傍に対して取り付けられ、複数の支柱用ループ55（図6（a）参照）が形成される。

40

【0030】

図3に示すように、上記のようにループ形成材50（取付部53）が旗10Aの側縁部に対して取り付けられる際には、目印対応目印61aが目印11aと合致し、目印対応目印61bが目印11bと合致するようにして行われる。

その際、ループ形成材50が透視性を有しているため、作業者の視認によって、目印対応目印61a, 61bが目印11a, 11bに合致され得るのである。これによって、ループ形成材50が旗10Aのうちの所定の位置に取り付けられる。

【0031】

また、縁部対応目印63a, 63bが旗10Aの側縁部に合致するようにして、取付部5

50

3が旗10Aの側縁部及びその近傍に対して取り付けられる。

その際、ループ形成材50が透視性を有しているため、作業者の視認によって、目印対応目印63a, 63bが旗10Aの側縁部に合致され得るのである。

これによって、ループ形成材50が旗10Aに対して所定の角度で（代表例は直角）に取り付けられる。

【0032】

そして、図3（b）及び図6（a）に示すように、旗10Aは、複数の支柱用ループ55において、支柱15（支持材）に対して連結される。

【0033】

〔実施形態2〕

次に、本発明の実施形態2について、実施形態1との相違点を中心に、図4、図5及び図6（b）に基づいて説明する。

図4に示すように、この実施形態2では、旗10B（10）が「のぼり」とも称されるものであって、縦方向の長さが横方向の長さよりもかなり長く形成されている。

そして、実施形態1と同様に、旗10B（10）の1つの側縁部（おもて面及び裏面の両面）の近傍に複数の目印11a, 11bが設けられている。

【0034】

また、この実施形態2では、さらに、旗10Bの上縁部の近傍においても、旗10Bのおもて面及び裏面の両面に、複数の目印11a, 11bが設けられている。

これらの目印11a, 11bについても、旗10Bのおもて面に形成された目印11aと旗10Bの裏面に形成された目印11bとは、対応している。すなわち、目印11bは、目印11aの裏側に形成されている。

【0035】

旗10Bの上縁部の近傍に設けられた目印11a, 11bは、上部支持部材用ループ56（図6（b）参照）を形成するためにループ形成材50が取り付けられる部分に設けられている。各目印11a, 11bは、1つの点状に形成されている。

【0036】

この実施形態2では、実施形態1と同様に、図3及び図6（b）に示すように、複数のループ形成材50（取付部53）が旗10Bの1つの側縁部及びその近傍（旗10Bのおもて面及び裏面の各面）に対して取り付けられて、複数の支柱用ループ55が形成される。そして、旗10Bは、複数の支柱用ループ55において、支柱15（支持材）に対して連結される。

【0037】

図5（a）に示すように、この実施形態2では、さらに、ループ形成材50の一对の取付部53が、旗10Bの上縁部及びその近傍（旗10Bのおもて面及び裏面の各面）に対して、熱溶着又は接着剤による接着等によって取り付けられる。同様に、一对の相互接着部54同士も相互に接着される。

【0038】

こうして、図5（b）に示すように、複数のループ形成材50が旗10Bの上縁部及びその近傍に取り付けられ、複数の上部支持部材用ループ56（図6（b）参照）が形成される。

【0039】

図5に示すように、上記のようにループ形成材50（取付部53）が旗10Bの上縁部及びその近傍に対して取り付けられる際には、目印対応目印61a, 61bが、各々、旗10Bの上縁部の近傍に設けられた目印11a, 11bと合致するようにして行われる。これによって、ループ形成材50が旗10Bのうちの所定の位置に取り付けられる。

【0040】

また、縁部対応目印63a, 63bが旗10Bの上縁部に合致するようにして、取付部53が旗10Bの上縁部及びその近傍に対して取り付けられる。

これによって、ループ形成材50が旗10Bに対して所定の角度で（代表例は直角）に取

り付けられる。

【0041】

そして、図5(b)及び図6(b)に示すように、旗10Bは、複数の上部支持部材用ループ56において、上部支持部材16(支持材)に対して連結される。

【0042】

〔実施形態3〕

次に、本発明の実施形態3について、実施形態1及び2との相違点を中心に、図7及び図8に基づいて説明する。

図7に示すように、この実施形態3のループ形成材150では、縁部対応目印163a、163bが、各々、3つの点状に形成されている。

10

すなわち、各点状部164は、ループ形成材150のうちの取付部53とループ形成部51との境界部分において、その境界部分の長さ方向の両端部及びその中央部分に形成されている。

そして、図7に示すように、実施形態1及び2と同様に使用され、同様の効果が得られる。

【0043】

なお、各縁部対応目印163a、163bは、1つ、2つ又は4つ以上の点状部によって形成されていてもよい。また、1つ又は複数の短い線状部によって形成されていてもよい。

【0044】

20

〔実施形態4〕

次に、本発明の実施形態4について、実施形態1等との相違点を中心に、図9に基づいて説明する。

この幕セットは、幕110及びループ形成材50を有している。

幕110は、布等によって形成されており、横長の帯状に形成されている。幕110には、紅白の縦縞模様(図示省略)等が施されている。

【0045】

幕110の上縁部(おもて面及び裏面)の近傍には、複数の目印11a、11bが設けられている。幕110のおもて面に形成された目印11aと幕110の裏面に形成された目印11bとは、対応している。

30

同様に、幕110の下縁部(おもて面及び裏面)の近傍においても、複数の目印11a、11bが設けられている。

【0046】

そして、この実施形態3では、幕110の上縁部及びその近傍並びに幕110の下縁部及びその近傍に対して、ループ形成材50(取付部53)が取り付けられる。

その際、目印対応目印61a、61bが目印11a、11bと合致するようにして、かつ、縁部対応目印63a、63bが幕110の上縁部/下縁部に合致するようにして、取付部53が幕110の上縁部及びその近傍/下縁部及びその近傍に対して取り付けられる。

【0047】

こうして、複数の上縁部用ループ155a及び複数の下縁部用ループ155bが形成される。そして、複数の上縁部用ループ155aにロープ115aが挿通され、複数の下縁部用ループ155bにロープ115bが挿通され、幕110がロープ115a、115b(支持材)に連結される。

40

【0048】

なお、上記のものはあくまで本発明の一実施形態にすぎず、当業者の知識に基づいて種々の変更を加えた態様で本発明を実施できることはもちろんである。

例えば、上述の各実施形態の特徴を任意に組み合わせた態様も考えられる。

また、ループ形成材(50、150)のループ形成部(51)は、取付部(53)及び相互接着部(54)と同じ幅でもよい。

また、相互接着部(54)は、必ずしも設けられなくてもよい。

50

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施形態 1 の旗セットのうちの旗を示す斜視図である。旗等に対して取り付けられた際の形状に近い状態に湾曲され折り曲げられた状態を示す。

【図 2】本発明の実施形態 1 の旗セットのうちのループ形成材を示す斜視図である。本発明の実施形態 2 ～ 4 におけるループ形成材でもある。

【図 3】本発明の実施形態 1 の旗セットにおいてループ形成材が旗に対して取り付けられる工程を示す斜視図である。

【図 4】本発明の実施形態 2 の旗セットのうちの旗を示す斜視図である。

【図 5】本発明の実施形態 2 の旗セットにおいてループ形成材が旗に対して取り付けられる工程を示す斜視図である。

【図 6】(a) は、本発明の実施形態 1 の旗セット（結合状態）を示す斜視図であり、(b) は、同じく実施形態 2 の旗セット（結合状態）を示す斜視図である。

【図 7】本発明の実施形態 3 のループ形成材を示す斜視図である。

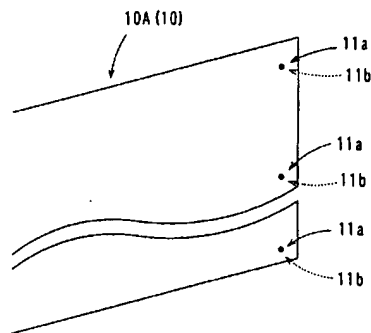
【図 8】本発明の実施形態 3 のループ形成材が旗に対して取り付けられた状態を示す斜視図である。

【図 9】本発明の実施形態 4 の幕セットを示す斜視図である。

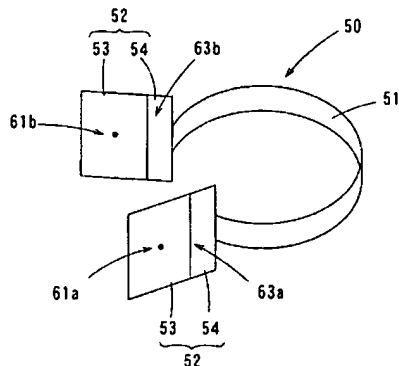
【符号の説明】

10 (10A, 10B) 旗
11a, 11b 目印
15 支柱（支持材）
16 上部支持部材（支持材）
115a, 115b ロープ（支持材）
50, 150 ループ形成材
61a, 61b 目印対応目印
63a, 63b 縁部対応目印

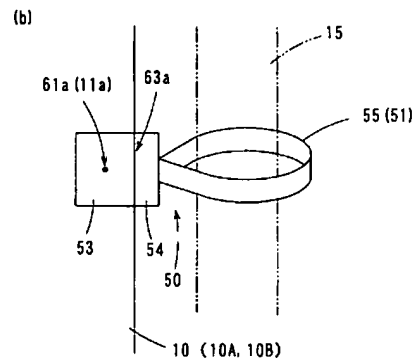
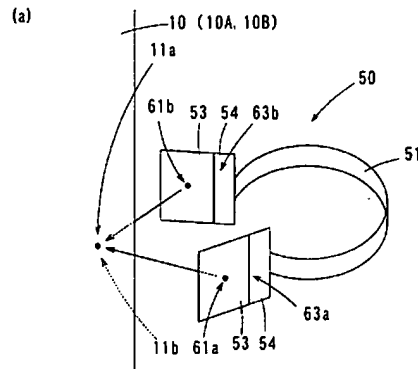
【図 1】



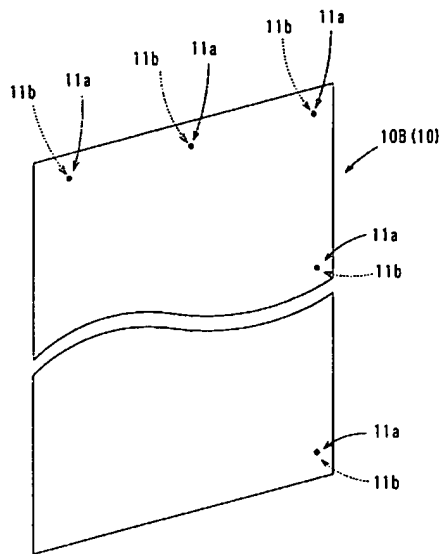
【図 2】



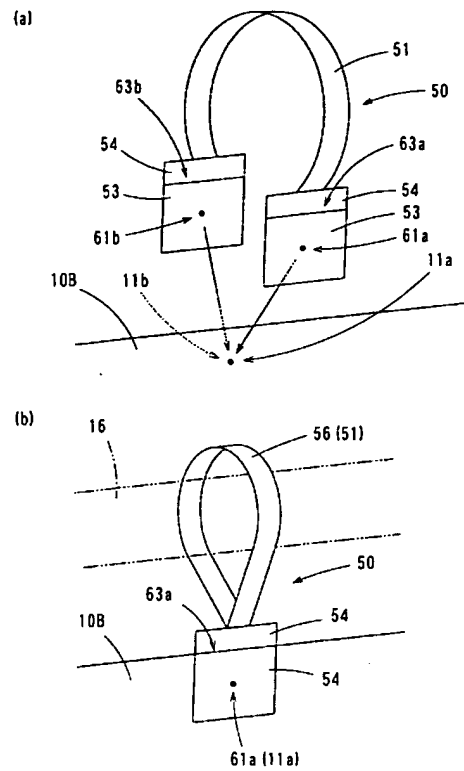
【図 3】



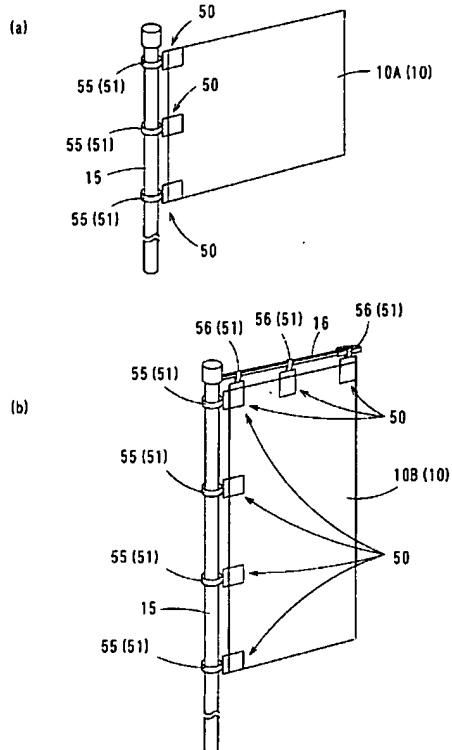
【図 4】



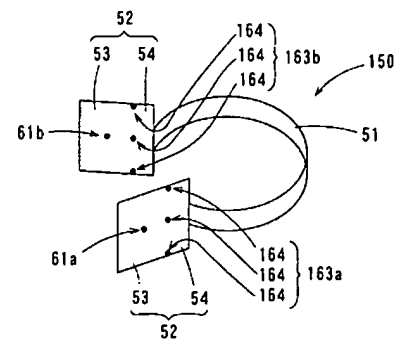
【図 5】



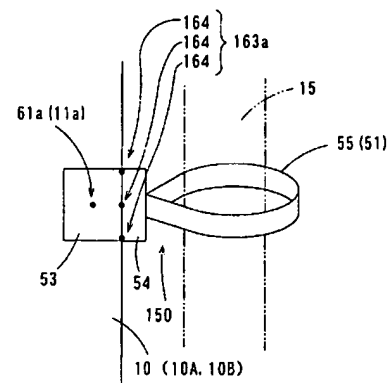
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【図 9】

